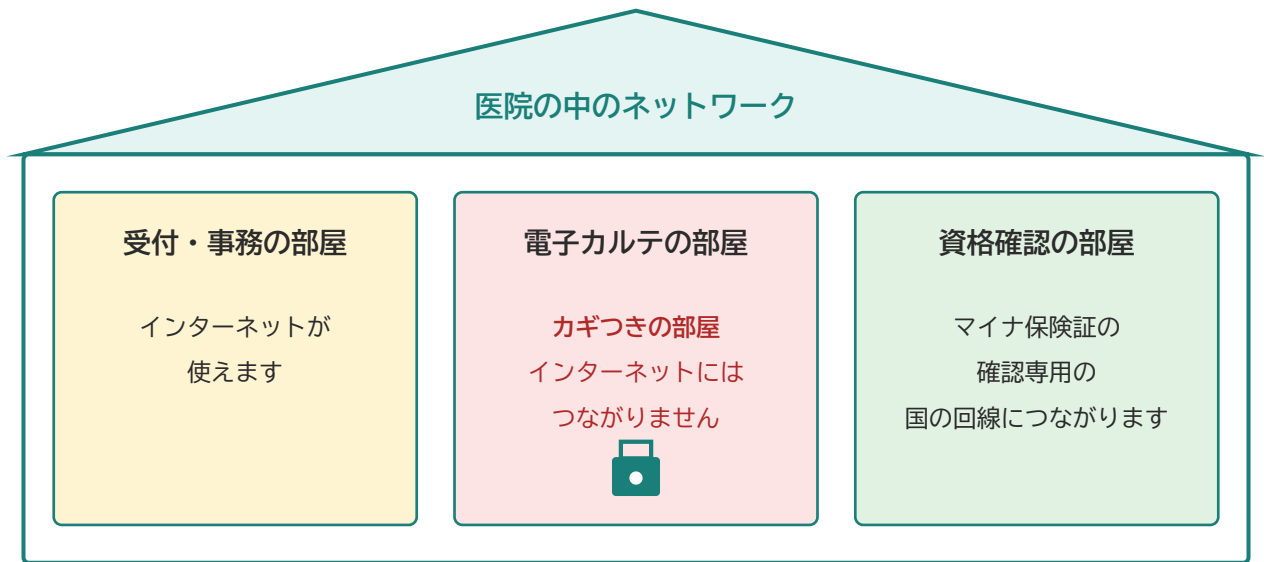


院内ネットワークの安全対策と 遠隔サポートのご案内

この資料では、医院のネットワークがどのように守られているか、そしてパソコンのトラブル時などに保守担当が離れた場所からお手伝いする「遠隔サポート」のしくみを、かんたんにご説明します。

1. ネットワークを「3つの部屋」に分けています

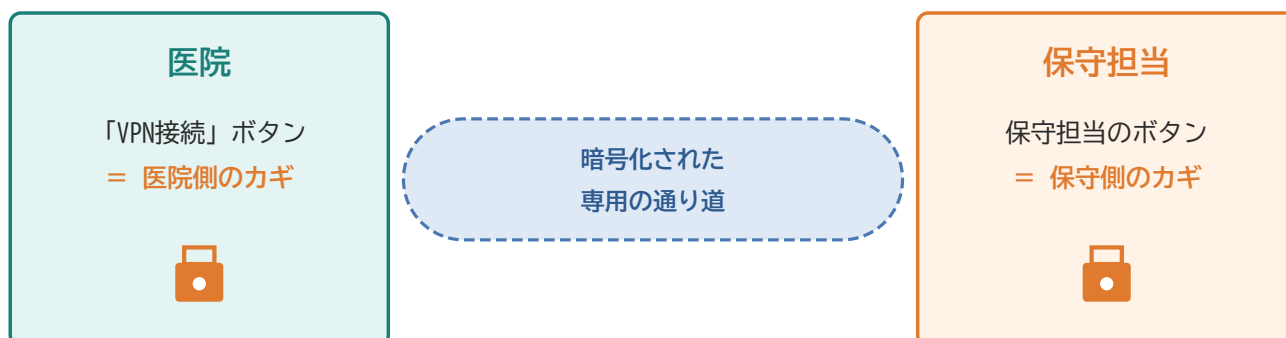
医院のネットワークを、役割ごとに3つの部屋に分けています。いちばん大切な電子カルテの部屋はカギつきで、ほかの部屋から勝手に入ることはできません。また、電子カルテの部屋はインターネットにつながらないため、インターネット経由でウイルスが入り込んだり、情報が外に出ていたりする心配がありません。



※ 受付・事務の部屋のパソコンで万一ウイルスに感染しても、電子カルテの部屋には広がらないようにしています。

2. 遠隔サポートは「二つのカギ」で守られています

遠隔サポートでは、医院と保守担当のあいだを暗号化された専用の通り道でつなぎます。この通り道には医院側と保守担当側の二つのカギがあり、両方がそろったときだけつながります。医院の皆さまが「VPN接続」ボタンを押さない限り、保守担当が勝手につなぐことはできません。

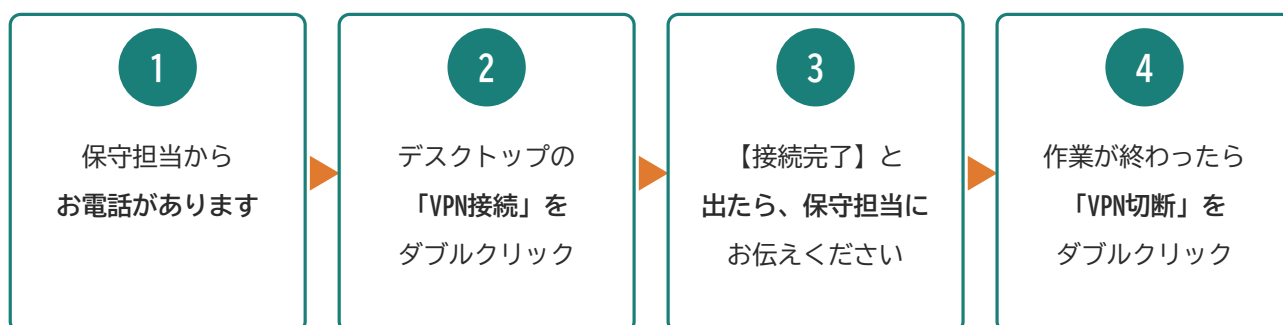


両方のカギが開いたときだけ つながります

ふだんは両方とも閉まっています

3. 遠隔サポートのご利用の流れ

操作はデスクトップのボタンを押すだけです。むずかしい設定は必要ありません。



押し忘れても大丈夫です。毎日決まった時刻（標準：夜9時）に、自動でカギがかかります。

画面に出るメッセージ

画面の表示	意味・お願い
【接続完了】	つながりました。保守担当にお伝えください。
【未接続】	保守担当の準備がまだです。保守担当にお伝えください。
【切断完了】	カギを閉めました。遠隔サポートは終了です。
【エラー】	うまくいきませんでした。表示された内容を保守担当にお伝えください。

4. 安心してお使いいただくためのポイント

- ふだんは閉まっています
遠隔サポートの通り道は、使うときだけ開きます。使っていないときは外からつながりません。
- やりとりは暗号化されています
通り道の中身は暗号化されているため、途中で盗み見られる心配がありません。
- 見られるのはボタンを押したパソコンだけ
遠隔操作のソフトは、「VPN接続」を押したパソコンで、作業のあいだだけ動きます。終わると自動で止まります。
- 停電や再起動でも閉まった状態に戻ります
機器が再起動したときは、必ずカギがかかった状態で立ち上がります。
- パスワードは表に出ません
ボタンのしくみの中にパスワードは書かれていません。パソコンの中に暗号化して保管しています。
- 作業の記録が残ります
いつつないで、いつ閉じたかの記録がパソコンに自動で残ります。

5. よくあるご質問

Q. 電子カルテのパソコンでインターネットが見られなくなりました。

A. 安全のため、電子カルテの部屋はインターネットにつながらないようにしています。インターネットを使う作業は、受付・事務のパソコンでお願いします。

Q. 保守担当が、勝手にパソコンを見ることはありますか？

A. ありません。医院で「VPN接続」を押したときだけつながります。作業が終わったら「VPN切断」を押してください。

Q. 「VPN切断」を押し忘れてしまいました。

A. 毎日決まった時刻（標準：夜9時）に自動でカギがかかります。気づいたときに押していただければ、その場で閉まります。

Q. 停電がありました。何かする必要はありますか？

A. ありません。機器は自動で閉まった状態に戻ります。

Q. 【エラー】が出ました。

A. もう一度ボタンを押してみてください。それでも出る場合は、表示された内容を保守担当にお伝えください。

LatteWorks

デジタル署名者:
LatteWorks
日付: 2026.10.10
20:12:31 +09'00'